

平成29年7月九州北部豪雨

被害について

～僕たちがみたもの その1～

〇はじめに

こう べ だいがく がく せい しん さい きゅう えん たい

あし ゆ たい

神戸大学学生震災救援隊とKOB足湯隊は今回の豪雨水害を受けて2017年(平成29年)9月5日から9月7日までの3日間大分県日田市にて支援活動を行いました。

そこで僕たちがみた、現地の様子をご覧ください。

最近の報道では被害の様子を知ることはあまり無いのではないのでしょうか？

今も現地は支援の手を必要としています。

神戸大学学生震災救援隊代表 江藤



← 大分県^{ひ た}日田市
陥没した道路

土石流やがけ崩れよっ
て通行止めとなっている
道路がたくさんありました。
土砂に完全に埋まってい
る道路もありました。

2017年9月5日

神戸大学学生震災救援隊撮影



ひた

大分県日田市 被害を受けた線路

2017年9月5日 神戸大学学生震災救援隊撮影



ひた

大分県日田市 被害を受けた踏切

2017年9月5日 神戸大学学生震災救援隊撮影

きゅうだいほんせん

JR久大本線では現在も運転を見合わせている区間があります。橋が流されたためで、被害規模が大きいため復旧のめどがたたず現在でも代替バスが運行されている状況です。

線路は豪雨の際には完全に土砂に埋もれたところもあったようでした。



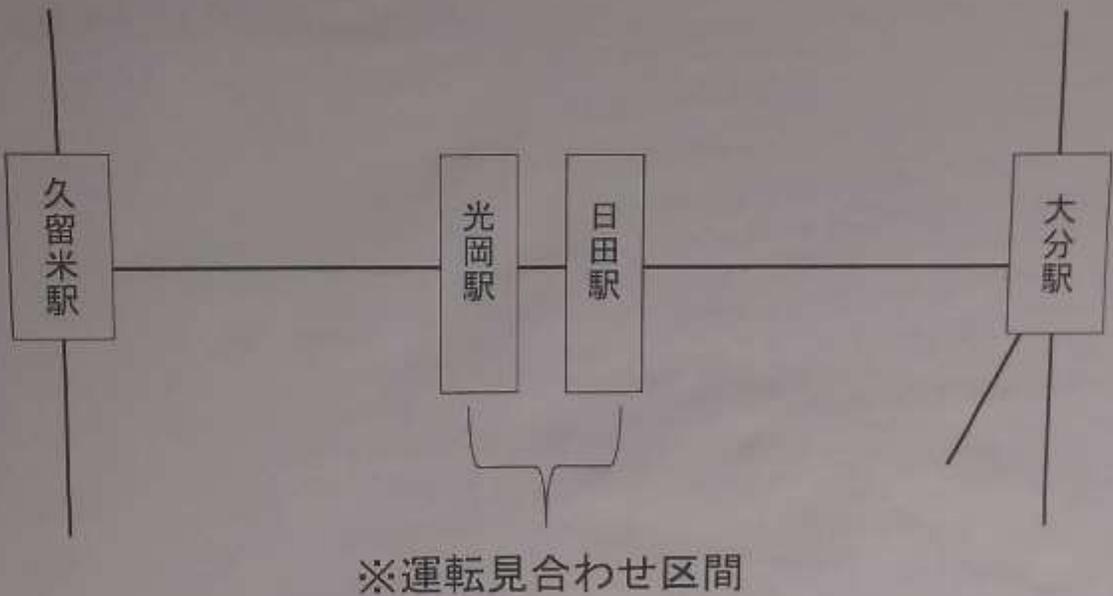
7/18～当分の間

久大本線の運転状況について (お知らせ)

光岡駅～日田駅間の線路災害の影響により、同区間で列車の運転を見合わせております。

お客さまへはご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承くださいませようお願いいたします。

●久大本線の運転状況



※運転見合わせ区間

7月18日(火)から当分の間、代行バスによる輸送を行います。代行バスの時刻表をご参照下さい。

JR九州 久留米鉄道事業部

平成29年7月14日現在

ひた ひた

大分県日田市 日田駅の張り紙

2017年9月5日 神戸大学学生震災救援隊撮影



ひた

大分県日田市 倒壊した家屋

2017年9月5日 神戸大学学生震災救援隊撮影



ひた

大分県日田市 流入した土砂を出す(泥だしをする)家屋
2017年9月5日 神戸大学学生震災救援隊撮影

避難1300人 不明21人

九州北部豪雨 1週間

住民、泥出しに懸命 共産党、被災者救援へ全力



土砂やがれきの付けたままの住宅前。12日午前、福岡県糸島市比良地区。



被災者が泥出し作業中。福岡県糸島市比良地区。

福岡、大分県を中心に九州北部豪雨から1週間となる。巨雨九州北部は大雨が降り続け、冠水がひどい。避難所も、避難者の増えに対応できず、避難所が満杯になっている。避難所が満杯になると、避難者が避難所から出て、避難所を離れている。避難所が満杯になると、避難者が避難所から出て、避難所を離れている。避難所が満杯になると、避難者が避難所から出て、避難所を離れている。

九州北部の主な豪雨被害 (12日21時時点)

	福岡県	大分県
避難者	25人	3人
不明	3人	0人
死亡	2人	4人
不明	5人	2人

※福岡県糸島市比良地区で7人が不明。糸島市で1人が不明。避難者は救助されている。

避難所が満杯になると、避難者が避難所から出て、避難所を離れている。避難所が満杯になると、避難者が避難所から出て、避難所を離れている。避難所が満杯になると、避難者が避難所から出て、避難所を離れている。

避難所が満杯になると、避難者が避難所から出て、避難所を離れている。避難所が満杯になると、避難者が避難所から出て、避難所を離れている。避難所が満杯になると、避難者が避難所から出て、避難所を離れている。

山間部の地域では倒壊したままの家屋も多く見られました。住民の方は避難所や親戚の家に避難をしていることが多いそうです。

家屋に土砂が流入した場合は土砂を速やかに出さなければ柱が腐ったり異臭がしたりします。しかし、土砂を出すためには家の家財道具を全て外に出し、床を上げ、消毒をし、再び床を戻し家財道具を戻すという大変な作業が必要です。

ボランティアの協力もあり市街地では比較的作業が進んでいるようですが、まだまだ手が付けられていないところもあります。